



会社概要

設立	1999年（平成11年）
所在地	事務所 苫小牧市沼ノ端16 合材工場 苫小牧市沼ノ端2-62
連絡先	TEL 0144-53-3535
HP	https://ssl.maedaroad.co.jp/
概要	- アスファルト合材(加熱・再生・改質)の製造・販売 - 全天候型高耐久常温アスファルト合材『マイルドパッチ』ほか補修材料の販売 - アスファルト乳剤の販売 - 中間処理（破碎）工場 ※事務所前がれき類（アスファルト塊・コンクリート塊）の受入・処理および再生路盤材の製造・販売

現在の取り組み

『**低炭素合材**』で温室効果ガスの排出抑制に寄与します。

低炭素合材とは、業界に先駆けて導入した中温化技術(**ecole**)による化石燃料消費量の削減やCO₂フリー電力を活用し、CO₂排出量を低減した手法で製造したアスファルト合材の総称です。

ecole(エコール)とは、マイクロフォームド技術を利用した環境性と作業性に優れたアスファルト合材です。

ecole-L（出荷温度低減型）製造温度と締固め温度を最大30℃低減することができ、CO₂排出量を削減できます。施工温度が低いため、交通開放までの時間が短縮でき、夏季施工時の熱中症予防として効果的です。アスファルトの劣化が抑制され、品質が向上します。

ecole-N（作業温度域拡大型）通常の合材と同じ温度で製造し、締固め可能な温度領域を広げることができます。冬期や寒冷地における温度低下による締固め不足を防ぎ、品質の均一性が向上します。運搬可能時間が長くなるため、より遠くの現場へ運搬可能となります。

ここがすごい！PRポイント！

低炭素合材のご利用実績に応じてCO₂排出削減量に見える化した「**アクションレポート**」を発行させていただきます。持続可能な社会の実現に向けた発注者様・お客様の取組としてご活用下さい。

担当者からのコメント

「アスファルト合材の製造にはCO₂の排出は避けられない」このような固定概念を捨て、新たな技術を取り入れながらCO₂の排出削減に対して真摯に取り組んでおります。

今後もカーボンニュートラルの達成に向けて、日々邁進していきます。
（品質管理担当 木谷 優輝）

